

令和7年度

事業計画書



公益財団法人草津市コミュニティ事業団

はじめに

当事業団は、草津市協働のまちづくり条例に基づく市の指定を受けた中間支援組織として、市民公益活動団体や地域まちづくり協議会など民間のステークホルダーと行政との官民連携の結節点として協働のまちづくりを推進しています。令和5年度から令和9年度までの中期行動計画として定めた「アクションプラン2023」に基づき、“**確かなコーディネート力と明日へとつながる伴走支援で、協働のまちづくりをリードします**”を組織ビジョンに掲げて様々な事業を展開していきます。

令和7年度は、草津市立市民総合交流センター「キラリエ草津」の指定管理者として共同事業体に加わり2年目の年を迎えます。当事業団が得意とするコーディネートによりキラリエまつりなどの施設イベントをさらに充実させることで入居者団体との連携・協働を深めるとともに、引き続き市の各機関やまちづくり協議会、市民公益活動団体との協働を進めてまいります。

また、急激な物価上昇や人件費の高騰など目まぐるしい社会情勢の変化にも注視しながら、「事業団ブランド」の確立を目指し、草津市の豊かなコミュニティづくりに欠かせない「オンリーワン」の組織として、次に掲げる3つの基本方針のもと、令和7年度の事業計画を定めます。

（1）事業団ならではの専門性とネットワークを活かした“中間支援”を追求します。

草津市では令和3年度から「第6次草津市総合計画」がスタートしており、令和7年度からは新たに第2期基本計画がスタートします。第1期基本計画に引き続きリーディング・プロジェクトのひとつとなる「地域の支え合い推進プロジェクト」に関わり、各地域まちづくり協議会の支援については、引き続き会計・税務・労務等業務の支援を行うとともに、人材育成や地域課題の相談対応等、地域のまちづくりに関わる支援の強化を図ります。

市民公益活動団体等に対しては、令和6年度に市から引き継いだラウンドテーブルの主催に加え、指定管理者としてキラリエまつりの企画運営や自主教室を開催するなど、事業団ならではの専門性とネットワークを遺憾なく発揮し、キラリエ草津が、市民の皆さまに愛され、交流や協働の拠点となるよう、取り組みを発展させていきます。

（2）政策支援型の公益事業を展開し、指定管理施設の社会的価値を高めます。

指定管理施設の運営については、ロクハ荘と文化ホールにおいて令和7年度から引き続き5年間の指定管理を受託することができましたことから、高齢者を含む多世代間交流を図り「健幸都市」を推進するロクハ荘、みどりのサポートセンターを窓口に「ガーデンシティくさつ」を推進するロクハ公園、草津市文化振興条例に基づき市民とともに

創るスタイルで市の文化振興計画で位置付ける「13万人の文化プロジェクト」等を実施する文化ホール、これら3施設においてそれぞれの施設の特徴を生かしながら市の政策実現を支援する公益事業を展開し、施設の社会的価値を高めます。また、急激な物価上昇や人件費の高騰など経営環境の厳しさが増す中であって、様々な社会情勢の変化に機敏に対応しながら、引き続き、安全・安心な施設運営に努めます。

(3) 変化を先取りし、常にチャレンジし続ける組織づくりを進めます。

人材マネジメントについては、働き方改革に伴う契約職員等の処遇改善や各種研修、コンピテンシーモデルと言われる職員の行動規範を示した人材育成評価制度等を通じて、職員の人材育成、組織体制の強化を図ります。

複雑多様化する社会の中で、「困ったときは事業団」と気軽に相談していただけるよう、市民によるまちづくり活動を中間支援組織として支えるとともに、市の各種政策を支援できる「オンリーワン」の組織として、これからも、先駆性、挑戦性を大切に、変化を先取りし、常にチャレンジし続ける組織づくりを進めます。

事業計画

I 公益目的事業

1. コミュニティ振興およびまちづくりに関する事業

(1) まちづくり振興

ア. 市民公益活動団体等の交流促進

① キラリエ草津周年交流イベント「キラリエまつり」の開催

キラリエ草津の共同指定管理者として周年交流イベントであるキラリエまつりのコーディネートを行います。キラリエ草津の各入居団体やキラリエサポーター、草津市などと連携し多くの出会いや交流が生まれる市民交流を促進します。

また、自主事業として開催するまちづくり講座でも多彩な人材を講師として登用することで、あらたな交流を創出します。



② くさつラウンドテーブル

地域の課題や取り組みについて意見交換、気づき・学びの場として「くさつラウンドテーブル」を開催します。草津市や市民世話人などと連携し、肩書や立場を外してフラットな立場で意見交換を行える場づくりを行い、地域課題の解決や協働事業の創出へ向けたアイデアを出し合い協働のまちづくりの促進を図ります。

イ. まちづくりに関する情報の収集および発信

① まちづくり情報誌「コミュニティくさつ」の発行

市内の特色ある団体や地域の取り組みを紹介するまちづくり情報誌を発行します。年間2回の市域版に加え、希望のあった地域を対象とした地域版も2回発行します。

地域版の作成にあたっては、地域まちづくり協議会と協働で取り組み、地域まちづくり情報の充実と広報力の向上、地域とのつながりづくりに活かします。



② 市民公益活動団体情報の収集と発信

市内で活動する市民公益活動団体の基礎情報をHPで発信し、団体の情報発信やパブリシティ活動、ボランティアマッチング、団体同士のネットワーク形成など団体の基盤整備に活用します。掲載団体に対しては他団体の活動や実務に有益なサポート情報を掲載するニュースレターを届け活動の基盤強化をはかるほか、えふえむ草津の情報番組「KUSATSU FRONT LINE」にも順次出演いただき、広報チャンネルの幅を広げます。

③ コミュニティ FM を活用したまちづくり情報の発信

まちづくり活動に取り組む団体の活動 PR の機会として、今年度も FM 番組「くさつコミュニティ TeaTime!!」を、えふえむ草津と連携しながら制作・放送します。“市民自らが出演する FM 番組”として情報誌や助成事業、地域まち協サポートなどとも関連づけながら、多くのまちづくり団体がタイムリーに出演できるようコーディネートを行います。



④ まちづくり協議会 HP 運営サポート

地域まちづくり協議会による地域運営の透明性の確保と広報力向上のため、希望する 11 協議会の HP 運営をサポートします。各まち協と HP 保守契約を締結し、IT 系 NPO と連携してサイト運営をサポートします。特に前年度に HP リニューアルを実施した 7 地域のまち協 HP については、丁寧なサポートを行い新サイトの円滑なスタートと安定運営を目指します。

この他、LINE 公式など SNS での情報発信の支援など、HP 以外でも広報や IT 推進の支援も行います。

ウ. まちづくりに関する相談およびコンサルティング等

① 相談・コンサルティング

中間支援の基幹業務として、多様なまちづくり相談に職員が「まちづくりコーディネーター」として対応します。団体運営や事業の進め方に関する助言から、団体間のコーディネートまで幅広い対応を行います。また、それぞれのニーズに応じながら、地域まちづくり計画の策定サポートや人材育成講座、まちづくり講座の実施、事業団の関係施設や大学などと連携した各種サポートも実施します。

また、地域まちづくり計画の策定など専門性や実務が伴う業務に対しては、有償型支援を基本とし、その収益を職員の間接支援力向上のための人材育成に活用していきます。



エ. まちづくりに関する人材育成および研修

① ひととまちの未来をつくるカレッジ

市民公益活動団体や地域まち協、これから活動を始めようとする市民を対象とした学びの機会を提供します。想いをカタチにしてきた実践者の講演や地域の取り組み好事例の紹

介、学生サークルと地域のマッチング会など、柔軟かつ多様な形で「学び・気づき・つながりづくり」の機会を創出します。

講演動画の期間限定配信、オンライン型やハイブリッド型による開催など多様な参加形態を確保し、「キラリエサポーター制度」とも連携することで草津の市民公益活動団体や関心層に広く深く提供します。

オ. まちづくりに関する活動支援および資金助成

① ひとまちキラリ（助成／活動賞）

市民公益活動団体への助成制度である「まちづくり活動助成」と、長年、地域で地道な活動を続けてきた団体に“ありがとう”の気持ちを伝える「イキイキ活動賞」を引き続き実施します。特に助成事業では活動のスタートアップを支援するため、助成だけでなく活動全般に寄り添う伴走支援を行います。併せて実務型研修講座を行い、基本的な実務スキルの習得や団体間の連携を強化します。



② まちづくり協議会 会計・税務・労務等サポート業務

地域まちセンの指定管理者として、3期目を迎える地域まちづくり協議会の会計・税務・労務などの日常業務のサポートおよびネットワーク環境のインフラ整備と保守を草津市から受託し、各協議会の適正かつ円滑な事務を支援します。報告書類提出時期や法改正に合わせた研修、個別相談会についても引き続き実施します。

草津市と協議会、コミュニティ事業団間での情報共有、および市の福祉バスなどの予約については、これまで外部サービスの活用により情報ポータル機能を維持してきましたが、今期よりIT系NPOと連携して独自のまち協向け情報ポータルサイトを構築し、情報共有のさらなる円滑化を図ります。

③ キラリエサポーター支援業務

キラリエ草津の共同指定管理者として、キラリエサポーターの登録・更新事務や付随する業務を行います。草津市が定める基準に基づく登録・更新に係る事務を行いながら、中間支援組織としてより効果的な支援と伴走を行うことで、キラリエサポーターの活躍機会を提供していきます。

④ 市民交流スペース「協働ひろば」運営管理業務

キラリエ5階のフリースペース「協働ひろば」の運営管理を市から受託して行います。動画やSNSを使った情報発信など「情報を得るだけでなく、情報が生まれ発信されるスペース」としての機能や、キラリエサポーターをはじめとする様々な活動団体に、多様な使い方を提案し、団体間の交流やチャレンジ企画ができる場所として活用されるよう、柔軟に取り組みます。



また、カフェ機能を活かした交流型の敷居が低い小規模講座・体験会などを開催し、市民交流スペースとしての機能も高めます。

⑤ 草津コミュニティ支援センターのサポート

草津駅西口にある草津コミュニティ支援センターの施設管理を行います。公設市民営による中間支援センターとして、登録団体により構成される「草津コミュニティ支援センター運営会」による自主運営をバックアップしながら、運営会や利用団体が安全・安心に利用できるよう施設管理面でのサポートを行います。

⑥ まちづくり機器の貸出

市民公益活動団体や地域まちづくり協議会、町内会等が地域のコミュニティ振興を図るための交流イベント等に利用する厨房機器などの「各種まちづくり機器」を貸し出します。また、協働ひろば（キラリエ5階）では、活動の事務作業や情報発信等に必要な各種機材を提供し、活動をサポートします。なお、貸出機器については一部の機器で老朽化がみられるものについて、機器の更新を行うとともに、貸出機器台数の見直しについて検討を行います。

カ. その他、各種団体との協働事業の推進

大学や地域、キラリエ草津入居団体などによる交流事業の運営サポートを通じて各関係機関、市民公益活動団体等との交流促進と伴走支援を図り「まちづくり×福祉」「学生×地域」「行政×市民公益活動」といった協働モデルの創出に取り組みます。

また、キラリエ草津の指定管理者としてキラリエ草津交流イベントを活動団体と共に運営し、施設やプロムナードを有効に活用しながらイベントの目的である市民交流・社会参加・協働推進を進めていきます。



2. 高齢者福祉および多世代交流に関する事業

(1) 長寿の郷ロクハ荘

指定管理期間（令和7年度からの5年間）の初年度となります。

指定管理提案としてこれまで行ってきた「健幸都市くさつ」をもとに、ロクハ荘を「Well-being を実現させるシニア世代のパートナー」と位置付け、事業を展開しながらも安心・安全な管理運営に努めます。

① 高齢者の外出の機会の創出

人生百年時代となった今、高齢者の方々にはこの場（ロクハ荘）があるだけで、そこ（ロクハ荘）に行けば仲間がおり・時間を忘れる仲間との話や交わり、そしてそこには温浴施設があります。

それは「外出」という言葉につながっていきます。これまで市社会福祉協議会との連携から地域に出向く事業を実践して参りました。そのことは、まず外出の第一歩として「地域サロン」などで行われる「フレイル対策」の一環になり、しいてはそこに参加した方々が次は「ロクハ荘へ行く」機会の創出につながります。

ロクハ荘はこれからも「外出」をキーワードにお出迎え講座、みんなで歌う懐かしのメロディやお風呂の日イベント風呂、季節（しょうぶ・ゆず）のお風呂など、引き続き実りある事業展開を行っていきます。



② 高齢者の社会参加の場の提供

一億総活躍の時代にあって、様々な経験と能力で時代をリードし日本経済を支えてきた方たちも高齢者としての時代を迎えています。しかし、今尚それらの方々が社会へ参加していただくことは、これからも大変重要なものと考えます。

ロクハ荘では、まず気軽に参加できる雰囲気づくりを提供します。高齢者が講座等の学びを通し共通した話題で会話が弾み、それが「健康寿命」という大切な時間をつくり、やがて仲間づくりへとつながります。

ロクハ荘が今日まで培った事業のノウハウを仲間づくりのお手伝いに役立てるとともに、ロクハシェイクアウト、ロクハギャラリーなど仲間づくりの場の提供を実施していきます。



③ 仲間づくりの輪を広げる

ロクハ荘に集まる人たちの「輪」を広げることの重要性を考え、参加型の講座・講習会の種類や、生活していく上での必要な学習事業を実施します。それらの事業を行うことで、学びを通して「必要な知識」にとどまらず、仲間づくりの場の提供に寄与し、それが大きな「輪」となり、社会的孤立や引きこもりなどの課題解決策として、積極的に取り組んでまいります。



ICTの急速な進化に代表されるスマートフォン、タブレット端末、ソーシャルメディア、クラウド等の普及に伴い、ロクハ荘を利用される高齢者の方々からも、その知識や技能を高める必要性が多く聞こえてきますことから、ICT講習会等を知識や技能を高める場として提供していきます。また、参加型のロクハ実験農場や寄せ植え講座、ヤーンボミング装飾や世界の美味しい料理で異文化交流、アウトドアクッキング、ロクハ自然素材でSDGsを学ぶなど「緑葉あそびクラブ」として、知識や技能を高める場を提供していきます。

④ 多世代の交流が深まる

ロクハ荘では「赤ちゃんの駅」に登録し、公園を利用される若いお母さん方やつどいの広場「くれよん」利用者の方々気軽に授乳やリラックスできる場などの支援もできる体制を整えた施設として貢献しており、また、多世代が交流できるコンサートやイベント、こども縁日などを開催しています。



今後も、高齢者を含め多世代の皆さまが、集い・ふれあいのできる機会づくりとしての「地域食堂ロクハ」、ひなまつり・クリスマスコンサートや子どもの居場所づくり、手ぶらでお風呂などの講座やイベントも含めた事業を積極的に展開していきます。

⑤ 自らの健康づくりや介護予防の継続

ロクハ荘では、これまで健康に関する事業を多く行ってまいりましたが、実施したすべての講座・講習会などの参加者各々が「健康」という言葉に敏感に反応し、大きな関心を持っておられることを実感してきました。

それはまさに、草津市が提唱している健幸創造都市へのサポート事業の一環と認識しており、高齢者が健やかな生活を送ることができるよう、高齢者が健康に対する関心を持ち、健康づくりの実践につながるよう、啓発や取り組みを行っていく必要があります。



これらのことを踏まえ、引き続き利用者自らがその事業等に参加する必要性と行動が大切と認識できる「健康づくり」「介護予防」に関心ある事業を推進、実践して高齢者にとって喜びの時間を創生していける場の提供となるよう健康バンド、百歳体操やロクハレク、e-Sports の他、脳活学校、薬剤師による健康チェック、離乳食相談会などを行っていきます。

3. 環境および公園緑地等に関する事業

(1) ロクハ公園等

令和7年度は、令和6年度から始まった（公財）草津市コミュニティ事業団、草津造園協同組合と（株）サンアメニティ大阪の三者共同による3年間の指定管理事業の2年目となります。

引き続き、「施設を知り抜くプロの連携による『安全』『安心』『快適』の提供」、「みどりのサポートセンター発の地域による地域のための公園づくり」、「誰もが健康で幸せに暮らせる健幸都市の拠点として地域コミュニティ活動と協働の公園づくり」の3つを重点方針として運営します。

また近年続いてきた収支バランスの悪化を改善すべく、事業計画における支出内容の見直しと費用削減に努めるとともに、遊休設備やスペース、人的リソースを活用した更なる自主事業収入を模索して事業運営の健全化を図ります。

一方、日常の業務遂行においては単に従来のやり方を踏襲するのではなく、常にその意味合いを考え、必要なものは継続しつつも不要なものは大胆に変えていく、コストパフォーマンスやタイムパフォーマンスを意識して業務の効率化を図ってまいります。

① ロクハ公園プール管理運営事業

構成団体である（株）サンアメニティ大阪が持つプール運営事業のノウハウを生かして管理運営を行います。

令和7年度は、昨年度の気温と入場者数データをもとにプール営業期間の見直しを行います。基本的には7月8月を営業期間としつつ7月中旬までは土日みの営業とし、それ以降8月末までは平日含め連日営業、そして9月に入ってからの中旬までの土日祝日のみ営業を継続し、利用者のニーズに応えるとともに入場者数の増加を図ります。

更に営業期間中3日間程度、終了時間を17時から19時に変更して（仮称）トワイライトタイムショーを実施し、ロクハ公園プールの新しい楽しみ方を提案します。

またプール利用者にはロクハ荘温浴施設の利用料金割引を実施するなど、ロクハ荘と連携したオールロクハのサービスも提供します。

一方、プール非営業期間の室内プールの有効活用策として、昨年度好評であった「ボールプール」を面積を拡大して実施します。

令和7年度も引き続き開業期間が夏の2か月間となり、25mプールも使用中止の状態ですが、雷雨時等の避難誘導も含め、安全、安心、快適に、ロクハ公園プールの管理運営に努めます。



② 公園維持管理事業

ロクハ公園を含む約330以上の市内公園、および20以上の緑地・緑道では、遊具や外構設備の老朽化や植栽伸長への対応依頼が増加しており、公園管理のニーズは益々高まっています。また新たな公園の設置も進んでおり、管理対象も増加しています。

事業団職員による日常点検に加え、専門業者点検により、迅速で適切な維持管理に努めます。

ロクハ公園を中心とした事業としては、ロクハ公園3大イベント（4月のロクハ春まつり、5月のGWフェア、10月の緑化フェア）においてイベント会社と協力し、多くの方に来園いただける、そして小さな子どもたちにとっては思い出の場所となるような楽しいイベントを企画してまいります。

更に、小中学生の団体によるダンスパフォーマンスイベントや、吹奏楽サークルや中学高校の吹奏楽部による音楽イベントをロクハ公園3大イベントに合わせて野外ステージで開催するとともに、多目的広場を使った立命館大学による運動系イベントを不定期で継続開催します。



また、ロクハ公園施設利用者の利便性向上と業務省力化に向け、365日24時間自動サービスのインターネット予約システムを導入していますが、必要に応じて予約項目の追加やシステムのアップデートなども行っていきます。

③ 「みどりのサポートセンター」・ボランティア支援・ガーデニング推進事業

「みどりのサポートセンター」では、草津造園協同組合、公園ボランティアとともに「未来に向けた花と緑のまちづくり・ガーデンシティくさつの推進」の活動理念を実現するため、住民による公園管理を総合的にサポートしています。

植物を育て楽しむためには、それを行ってくださる人が必要で、またどのように行うのか、その手法や知識を教え伝えることも必要です。

そのためにレイカディア大学や一般から公園サポーターを募集してボランティア団体を組織するとともに、駆付け型ガーデニング講座を開催して知識の普及を図ります。

ロクハ公園のメインストリートであるプロムナードを中心に四季折々の装飾を施し、公園を訪れた方々がガーデニングに関心を持ちガーデニングを始めるきっかけとなるような公園整備のあり方も提案してまいります。



④ 環境学習事業やロクハ荘との連携事業

環境学習事業では、ロクハ公園の恵まれた自然環境を最大限活用して、ウォッチングシリーズ、ロクハツアーシリーズ、〇〇の日シリーズ、カブトムシ観察会などの人気企画を自主事業として継続します。

ロクハ荘との連携では、立命館大学と連携した「ロクハ実験農場での活動」や、“つどいの広場くれよん”の未就園児や保護者を対象にした「子育て支援イベント」、そしてアウトドアクッキングや木工教室などの「緑波あそびクラブ」を共同で開催し、オールロクハで「健幸都市くさつ」に貢献します。



4. 社会教育および文化・スポーツに関する事業

(1) 文化ホール

令和7年度は、指定管理期間（令和7年度からの5年間）の1年目に入ります。「市民とともに創る文化ホール」を基本理念に、「誰もが等しく文化芸術に触れる場の提供」と、「草津らしさ」「草津ならではの」と呼ばれる、草津の魅力を舞台芸術創造事業を通してプロデュース、展開して行きます。事業団の強みである地域でのネットワーク力、コーディネート力と中間支援機能を活かし、草津アートセンターは草津市文化振興条例、同計画の推進に寄与します。

また、2館一括管理運営により、市民の皆さまが利用しやすく、それぞれのホールの特徴を生かした事業の展開を図っていきます。

ア. 鑑賞型事業

鑑賞型事業では、劇団四季のファミリーミュージカル公演や劇団四季『心の劇場』（小学6年生を対象にした無料公演）が定着してきています。こどもたちをはじめ、多くの市民に本物の舞台芸術を鑑賞する機会を提供します。

- ① 『クレア劇場 2025』 劇団四季ファミリーミュージカル
「王子と少年」公演
- ② 劇団四季 心の劇場 市内小学6年生を招待する
ファミリーミュージカルの無料公演
- ③ びわこホール声楽アンサンブル クレア公演
- ④ クレアホール開館10周年記念 『市民と創るロビーコンサート』



イ. 普及啓発事業

普及啓発事業では、劇場での発表等を目標に、地域、文化団体と連携し、プロの実演家を派遣するなど文化芸術活動への関心を深め、担い手の育成に努めます。

- ① アートスクール （市委託事業）
- ② ゴスペルワークショップ （近隣中学校等で開催）

ウ. 市民協働事業

- ① 『草津市芸術祭 2025』

市民合唱祭、市民文化祭、市民音楽祭を統合し、草津市芸術祭として、一般公募団体による実行委員会制で開催します。それぞれのジャンルに対応した舞台仕様で開催します。

② 市民と創るクリスマスコンサート 【クレアホール開館10周年記念】

開館10周年を記念し、市内で活躍する音楽団体とスペシャル楽団（公募）で創るガラコンサート（祝祭）を開催します。

③ 防災フェスティバル（市委託事業）

警察、消防 自衛隊によるコンサート。



エ. 創造型事業

① クレア舞台芸術学校 2025

草津歌劇団9期生の募集。

国スポ障スポ開会式参加、

オリジナルミュージカルの公演。

（障害者等の文化芸術活動を支える拠点づくり事業への参加）



オ. 情報発信事業

① 月刊草津アートセンター 情報誌の発行

② えんえむ草津 『月刊 草津アートセンター』

アミカホール、クレアホールのイベント情報番組
4月～3月 12回



カ. 次世代育成事業

① アートスタート事業（市協働事業）

0歳児から安心して来場でき、親子が間近に音楽を楽しめる機会を提供します。

② クレアプラス・ジャズフェスティバル

市内の中学、高校、大学 一般の吹奏楽、ジャズバンド等の団体が一堂に会するブラスの祭典。

キ. アートセンター事業

① プログラム開発

② 舞台芸術相談、プロデュース

③ アーティストマネージメント コーディネート

④ 地域学校連携（アウトリーチプログラムほか）

(2) スポーツ振興

事業団が出資する合同会社草津市スポーツ振興事業体の業務執行社員の一員として、スポーツ施設の運営および維持管理を行います。構成団体にコナミスポーツを加えた指定管理の2期目、合同会社として5期目の4年目であり、令和7年9月から開催される「国民スポーツ大会」、「全国障害者スポーツ大会」を実施する大切な年になります。全国から参加される選手・役員・観覧者の方達が、気持ち良く記憶に残る競技や応援ができるように、大会運営関係者と協力体制を進めていきます。

第6期草津市総合計画の基本理念でもある『ひと・まち・ときをつなぐ絆をつむぐ ふるさと 健幸創造都市 草津』の実現、『「する みる 支える 知る」“ALLくさつ”でつなぐ健幸スポーツのまち』を指定管理の基本理念に掲げ、第2期草津市スポーツ推進計画の各種施策の達成に貢献するため、草津市、連携事業者、草津市スポーツ協会等の競技団体や学区体育振興会等の地域団体と協力して取り組みを進めます。

<指定管理者としての管理施設【国スポ実施種目】>

- ① 総合体育館【バレーボール6人制成年男子】
- ② 弾正公園（草津グリーンスタジアム【軟式野球成年男子】、
弾正テニスコート、多目的広場）
- ③ 野村運動公園（グラウンド）【ソフトボール少年男子】
- ④ ふれあい体育館・運動場
- ⑤ 武道館
- ⑥ 三ツ池運動公園（芝生グラウンド、テニスコート）
- ⑦ 野村公園 YMIT アリーナ（くさつシティアリーナ）
【バレーボール6人制成年女子・バスケットボール少年女子】



施設の運営にあたっては、利用者が快適で安全に利用できるよう、国スポ競技会場はもとより、練習・駐車場施設を含めて施設の維持管理の充実をより図るとともに、公平公正に努め、各種サービスの向上に取り組みます。

にぎわい創出事業については、国スポ開催時期を考慮した取り組みとし、競技団体や大学等の多様な地域資源との連携を進めるとともに、「ライフステージにあわせた健康づくり（子育て世代や働き世代へのアプローチ）」や「健康増進イベントの開催」等についても、関係団体とも協力しながら積極的に開催します。

Ⅱ 収益等事業

1. 公共施設管理

公共サービスの充実や公益目的事業に付随する事業を行うことにより、住みよいまちづくりに寄与することを目的として公共施設の管理等を行います。

① 道の駅草津駐車場

「道の駅草津」駐車場の管理運営を受託し、ドライバーの安全で快適な運転に要する休憩の場を提供しながら、草津の歴史・文化・名所などの紹介など、県内外から車で訪れる利用者にとって草津の玄関口となる多機能型の施設として、情報発信と地域振興に努めます。

② 長寿の郷ロクハ荘、クリアホール、アミカホール、ロクハ公園等の維持管理

長寿の郷ロクハ荘に設置されている温浴施設をはじめ、クリアホールやアミカホールおよびロクハ公園等の修繕や維持管理を、経費節減に努めながら適正に行います。